

2020年11月10日

京成バス株式会社

雨天時でも路線バスの「窓開け換気」が可能に 路線バスの客席窓に『雨除けバイザー』を導入します 578両に導入 11月2日(月)より順次取付け開始

京成バス（本社：千葉県市川市、社長：齋藤 隆）では、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として、11月2日(月)より、雨天時でも窓開け換気が可能となる『雨除けバイザー』を、路線バス578台に順次導入します。



【雨除けバイザーの取付け例】

京成バスでは、国土交通省や厚生労働省からの要請、および日本バス協会が定める「バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」等を踏まえ、感染防止に関する各種取り組みを行っている中、路線バスでは窓開けのほか、換気扇の使用並びに前扉・中扉の開放等により、車内換気を実施しております。

しかし、雨天時は雨水が車内へ侵入するため、客席窓を閉めなくてはならず、常時開放に比べて換気効率が低下することから、雨天時においても車内へ雨水の侵入を防止した上で、車内換気の根幹である窓開けを可能にする『雨除けバイザー』を導入し、さらなる車内換気の促進を図ってまいります。

また、『雨除けバイザー』を設置している客席窓の車内窓枠部には、『雨除けバイザー』の装着をお知らせするステッカーを掲示し、お客様には常時窓開けによる車内換気へのご理解・ご協力をお願いしております。



【ステッカー】



【バス車内のステッカー掲示位置】

京成バスでは引き続き、従業員の感染防止によるバスの運行確保、ならびにお客様に安心してバスをご利用いただけるサービスの提供に努めてまいります。

以 上